

# オオキンケイギクは「特定外来生物」です。

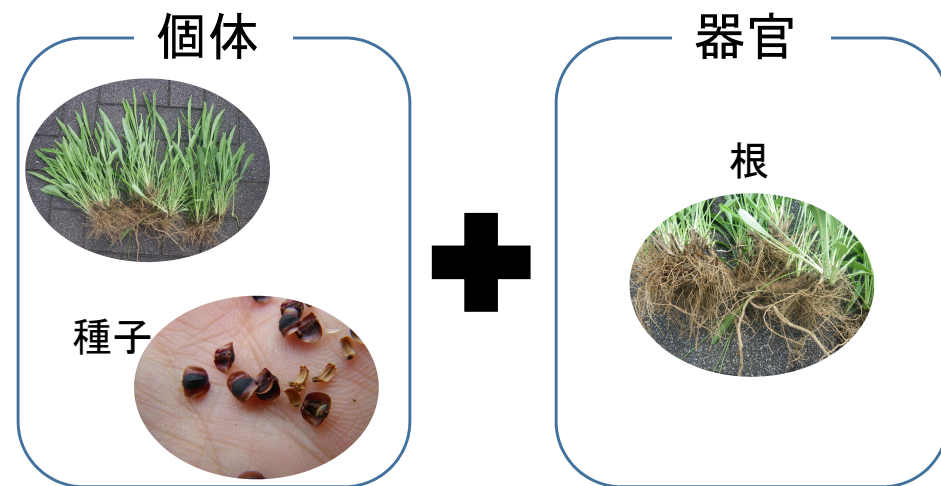
オオキンケイギクは、日本の生態系に重大な影響を及ぼすおそれがある植物として、外来生物法により「特定外来生物」に指定され、栽培、運搬等が禁止されています。



和名 : オオキンケイギク(大金鶏菊)  
 学名 : *Coreopsis lanceolata*  
 科名 : キク科  
 原産地 : 北アメリカ  
 特徴 : 多年草。高さ30～70cm。  
 開花期は5～7月。  
 路傍、河川敷等に生育する。

## ■ 外来生物法の規制の対象

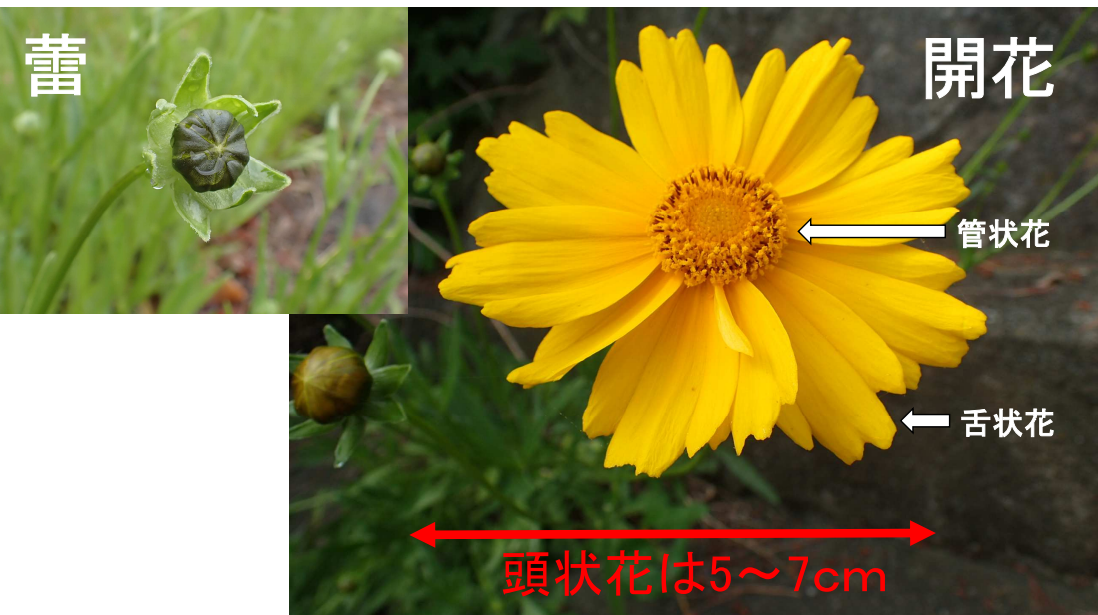
- ・オオキンケイギクは個体(種子を含む)と器官(根)。
- ・生きているものに限る。



## ■ なぜ駆除しないといけないのか？

- ・繁殖力の強い外来植物が、在来植物の脅威となる。
- ・河原などの草地に生える希少な植物を守る。
- ・地域生態系を保全する。

# オオキンケイギクの見分け方



生育初期  
の根生葉



生長が進  
んだ個体



- ・生育初期は細長いへら状。
- ・生長が進むにつれて3~5枚の小葉に分かれる。
- ・葉の両面には粗い毛が生える。
- ・越冬時はロゼット状となる。

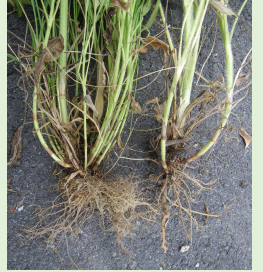
- ・直径5~7cmの頭状花(茎の先端に1つの花をつける)。
- ・舌状花は黄橙色で管状花も同じ色をしている。
- ・舌状花の先端は不規則に分かれる。
- ・コスモスに似るが、開花時期が異なる(コスモスは秋)。



# オオキンケイギクを見つけた際の対処

## その場で枯らせる場合

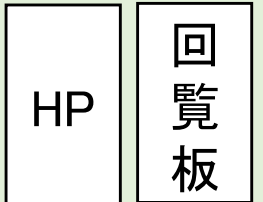
- (1) オオキンケイギクを根元から株ごと抜き取る(種子を地面に落とさないように注意)。
- (2) 種子や根を落とさないよう袋を密閉し、天日干しで枯死させる(または腐らせる)。
- (3) 各自治体のゴミ分別方法に従って処分する。



## 生きたまま運ぶ場合

下記の条件を満たせば、駆除したオオキンケイギクの運搬が可能です。

- (1) 特定外来生物の防除である旨、実施する主体、実施する日及び場所等を事前に告知する。  
ホームページ、SNS、回覧板、チラシなど。
- (2) 運搬中の落下や種子の飛散等の逸出防止措置をとる。
- (3) 防除したオオキンケイギクを処分することを目的として、ごみの焼却施設等に運搬する。



## 駆除する際の注意点

- ・**影響を最小限に**→ 駆除作業箇所に生息・生育する動植物をなるべく損傷しない。
- ・**種子を落とさない**→ 種子は土中で生き残る。花の咲き始めまでに駆除するのが効果的。
- ・**継続的に駆除する**→ 駆除した後も根や種子が残っているため、翌年も生えてくる。



結実期に駆除する場合は、抜き取り前に花を摘み取る